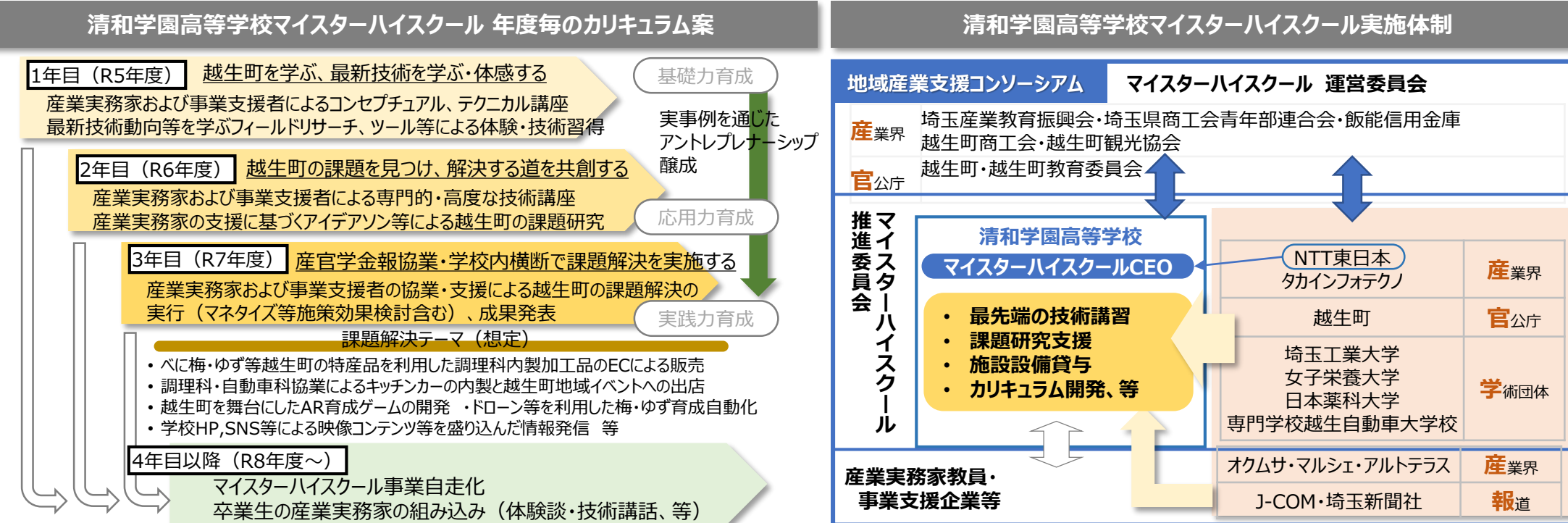
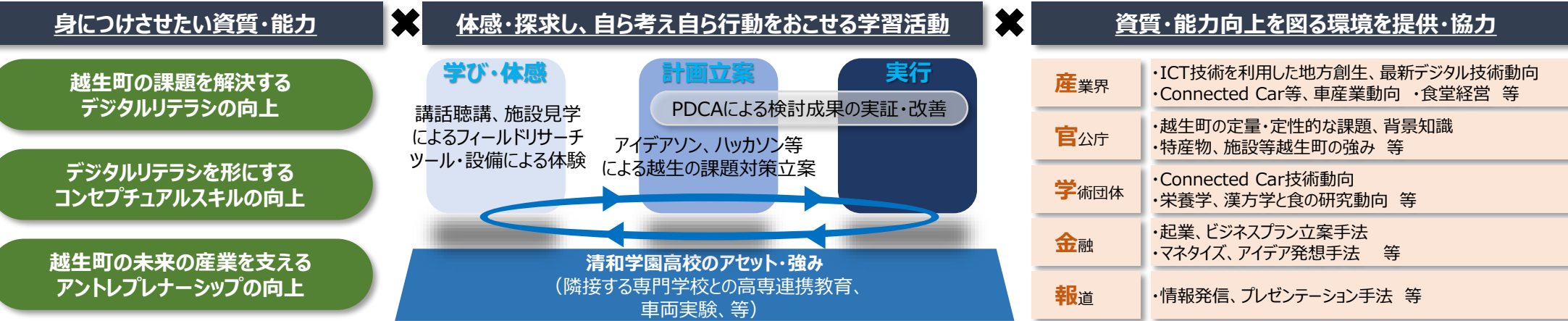


レジリエントな町と産業を支えるニューノーマル時代のSX（Sustainability Transformation）人材養成モデルの構築

事業ビジョン

越生の町と越生の産業のサスティナブルとレジリエントを実現するニューノーマル時代のSX人材養成モデルの構築

清和学園高等学校は、通信制高校でありながら全国唯一の工業・家庭の国家資格が取得可能な新たなスタイルの高等学校である。越生町に受け継がれてきた自然豊かな環境や地域産業を活かし、生徒一人ひとりが、越生町民や地域関係者と協働して、地域・社会課題の発見やICT・デジタル技術等最新技術による解決に自ら取り組むことのできる力を育み、アフターコロナ・ウィズコロナ時代における越生町の強靱かつ持続的な成長を図っていける人材を育成する。



レジリエントな町と産業を支えるニューノーマル時代のSX（Sustainability Transformation）人材養成モデルの構築

SDGs・最新技術



自動車科

自動車産業の最新動向「CASE」を体感する授業を実施、エコカーから環境問題とクルマの関係についても考察



越生町を学ぶ



調理科

越生町の特産品開発を軸にした授業・プロジェクトにより、生徒のスキル/能力開発と町の魅力発信を実践



- 「越生町を学ぶ」により、大多数が町外からの通学である生徒の越生町理解が深まり、親近感を醸成できた。
- 自動車科はCASE授業により、自動車産業の最新技術への理解が深まった。特に電動化・エコカーによる環境問題への意識が醸成され、今後の地域課題解決に向けた土台が形成された。
- 調理科はチョコレートプロジェクトにより生徒の能力・スキルの伸長が認められた。また、商品化して販売を行う取り組みで広く越生町の梅、ゆずをPRすることで地域課題である特産果樹の消費量減少や6次産業化へ貢献できた。
- プロジェクト形式でゴールを設定、生徒による発表機会を設定することで、取り組み意欲が高まることが確認出来た。